



2022
6/25

13:15~17:30

方法としての文学史

——東アジアの経験／実験から

エクスペリメントウム

基調講演 13:20 ~ 14:50

坂井洋史 (一橋大学)

「瞬間と断片の詩学、あるいは『文学史』の可能性について」

司会 三原芳秋 (一橋大学)

パネル「文学史を問い直す」15:00 ~ 16:50

阿部範之 (同志社大学)

「アダプテーションの時代性とテキストの可能性—巴金原作の映画『家』(1956) をめぐって」

譚仁岸 (広東外語外貿大学)

「歴史化とポストモダニズム——中国八十年代文学史研究の一つの方法論について」

花尻奈緒子 (三重大学)

「中国当代文学批評における『民間』の視角」

司会 鈴木将久 (東京大学)

総括コメント・討論 17:00~17:30

コメンテーター 坂井洋史 (一橋大学) × イ・ヨンスク (一橋大学)

司会 鈴木将久 (東京大学) × 三原芳秋 (一橋大学)

期日: 6月25日(土) 13:15~17:30 (開場 13:00)

会場: 一橋大学東キャンパス 国際研究館5階 ML会議室

会場参加をご希望の学外者の方は、事前に三原までご連絡ください(入構規制実施中のため)。

ZOOM ID: 987 7431 3260 PW: 742684

お問合せ: 三原芳秋 yoshi.mihara@r.hit-u.ac.jp



ポスターデザイン: 賈海涛